

Nishiaizu



1 | 広報にしあいづ
January. 2017 (平成29年) No.699

本年が皆さんにとって
良い年でありますように

新春特集

新年の抱負 年男・年女インタビュー P4~P5

P 2 新年のごあいさつ

P 6 まちの話題

百歳賀寿、西高魅力発信隊受賞報告 (ほか)

P 8 まちからのお知らせ&ニュース

自治功労者表彰式、民生・児童委員新体制 (ほか)



西会津町長 伊藤 勝

の整備、避難場所の指定等、災害に強い体制づくりに取り組みます。また、昨年12月には「雪対策基本計画」を策定しました。この計画に基づき、雪に強いまちづくりを進めます。

健康がいちばんを掲げて

町民の皆様が毎日健康で元気に生活できることが町の一番の願いです。「健康がいちばん」をスローガンに食・運動・健康（検）診を相互に連携して健康寿命延伸に取り組み、一人一運動などを広く推進します。

町総合計画（後期）および地方創生の実現に向けて

今年、人口減少対策として策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業を本格的に展開するとともに、町総合計画（後期）の実施計画の実現を加速化していきます。これらの取り組みの主な事業は、次のとおりです。

豊かな地域資源を活かして

町の森林資源活用型産業化計画による菌床キノコの大規模産地化や、ミネラル野菜の家を活用した特産品の販売促進など、町内産農林産物のプ

ランド化に努めます。また、旧越後街道を活用した観光誘客や町歴史文化基本構想の策定を進め、町の魅力を高めて地域経済の活性化を図ります。

「住んで良かったと実感できる町に」
西会津の良いところを見つけ、それを育てることが大切です。例えば、雪が降るといふことはきれいな水源があるといふこと。山や農地があるといふことは資源があるといふこと。高齢者がいれば知恵があり、高速道路のインターがあれば交流がある。空き家があれば移住の場がある。苦勞は工夫で補えば、さらに良い町を創ることができます。

若者の定住促進に向けて

西会津国際芸術村に年間約4000人の観光客が訪れるなど、町の交流人口は大きく拡大しています。今年、雇用と定住を連携して農林業の振興、観光受け入れ態勢の充実を図り、雇用確保と若者の移住定住を促進します。また、体験型農業や農家民宿の推進、ふるさと町民倶楽部、若者まちづくりプロジェクト会議などの事業を通して町の魅力発信に努め、加えて地域おこし協力隊員を7名としてさらなる地域活性化を図ります。

「西（鳥）年にあたって」
今年、西会津の鳥にちなんで「鶏群の一鶴」という言葉があります。多くの人の心にひときわ優れた人がいることの例えですが、優秀な人を輩出するのは教育です。今年、小中一貫教育が前進し、将来立派な人材が育つことを願うものがあります。今年も町民の皆様のご協力をお願いいたします。

子育て支援と教育の充実

「まちづくりは人づくり、人づくりは教育から」を実践し、人材の育成に努めます。小中一貫教育導入の推進を図るとともに、今年4月から

は町認定こども園「こゆりこども園」が開園することから、新たな総合教育グラウンドにおいて、町の将来を担い、国際的に活躍する人材の育成を

西（鳥）年にあたって

図るとともに、今年4月から

豪雨災害などが発生し、甚大な被害となりました。幸い、本町において大きな災害はありませんでしたが、これらを教訓に、土砂災害危険箇所を再点検や新たなハザードマップ

安全安心な町へ

新年明けましておめでとございます。本年も町民の皆様にとつて幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



西会津町議会議長 武藤道廣



頌春

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は町議会に対しまして、特段のご理解・ご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

【議会活性化への取り組み】

私も議会では、現在、議会活性化特別委員会を設置し、積極的な議会活動の推進や開かれた議会の構築、議員定数の検討など、議会の活性化と改革のために取り組んでおり、本年中にはその方針等を示す予定であります。

また、議会活動の一環として開催している「町民と議会との懇談会」では、町民の皆様から厳しくも心強いご意見や、貴重なご提言をいただき、心から御礼を申し上げます。

【住みよいまちづくりに向け】

さて、現下の地方を取り巻く状況は、過疎化・少子高齢化が進展しており、都市と地方の格差が拡大するなど、課題が山積しております。

特に本町では、高齢化率が43%を超え、地域力低下への対応や、適切な医療の確保、

介護サービスの充実、子育て支援、雇用・定住の促進、地域活性化に向けた施策の実施は、喫緊の課題であります。

町議会では、今後も議会基本条例をより具現化するため、さらに公正で透明な開かれた議会の構築を目指し、「町民と議会との懇談会」を開催してまいります。議会活動の内容を町民の皆様にも明らかにするとともに、いただいたご意見を議会活動に反映させ、より住みよいまちとなるよう努めてまいりますので、積極的なご参加をお願いします。

加えて、行政への監視機能や政策提言など、議会の役割を十分に果たすよう取り組んでまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。

【明るい未来に向け】

本年は、「酉年」ですが、伊勢神宮の式年遷宮に「遷御の儀」があります。神職の鶏鳴三声の掛け声で朝を告げた後、天照大御神の御神体を新しい正宮に移す神事ですが、昔から酉は夜明けを告げる縁起のよい干支とされています。また、「酉の声で天岩戸が

開き躍進して戊で笑う」ともいわれ、この年の過ごし方で翌年に笑えるかどうかが変わり、「酉年は明るい年回りへの準備の年」との説もあります。

町では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、雇用の場の創出や交流人口の拡大、定住促進や子育て支援などに本格的に取り組まれており、議会としても町勢が着実に前進し、明るい未来が拓けるよう、切望しております。

【協働による活力と魅力あるまちづくり】

私も議会は、この新しい年にあたり、町民の皆様との緊密な連携・協働のもと、西会津町を誇りとし、「町に住んでいて良かった」と真に喜びを実感できるような、活力と魅力あるまちづくりの実現に向け、引き続き懸命に努力し、町民の皆様の負託に応えられるよう頑張る所存であります。本年も町議会に対し特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

新年の抱負



明けましておめでとございませう。

平成29年となりました。皆さん、今年の目標はもう決めましたか？

今月号では、恒例の新春特集として今年の干支である「酉年生まれ」の皆さんに新年の抱負や夢を伺いました。

新年が皆さんにとって輝かしい一年でありますように心からお祈り申し上げます。

博行さん=今年も還暦を迎えるので、2人で同じ目標に向かって歩いていけるよう、第2の人生について少し考えてみたいと思っています。

また、2人の共通の趣味である旅行や、孫がもう少し大きくなったらみんなで一緒にキャンプなどに出掛けたいと考えています。なかなか箱から出せずにいたプラモデル作りにも挑戦したいです。

弘子さん=今年も公民館で開催しているヨガの講座に継続して参加し、体力づくりに取り組んでいきたいと考えています。

また、夫の単身赴任や仕事の都合などでこれまで2人の時間をあまり取れなかったもので、還暦を機に2年に1回だった旅行のペースを1年に1回に増やすなど、2人の時間を増やしていければと考えています。



ひろゆき ひろこ
八幡 博行さん 弘子さん

●昭和32年生まれ 芝草 夫婦



ありな ななえ
長谷沼 亜李菜さん 七重さん

●平成17年・昭和56年生まれ 西林東 親子

七重さん=昨年は、子どもたちの成長に感動した年でした。特に亜李菜は、休みの日に練習をして小学校のマラソン大会で優勝するなど、意外と努力家だったのだなと感心しました。今年も子どもたちの成長を楽しみしながら、余裕を持って生活し、子どもたちに尊敬されるような親になれるよう、努力していきたいと思っています。

亜李菜さん=昨年は、とにかく走ることを頑張った年で、小学校のマラソン大会で優勝したほか、会津坂下町で行われた「あいづばんげ『いにしえ街道』マラソン大会」でも入賞することができました。

今年も中学生になるので、勉強はもちろん、ソフトボールや駅伝などの部活を頑張りたいです。また、ふくしま駅伝にも出場してみたいです。



佐藤 ミツイさん せいえつ 清悦さん

●昭和8年生まれ 宝川 夫婦

としよさん=昨年は中学3年生の娘が部活を引退したり、健寿が就職したりと、子どもたちが少しずつ大人になっていくのを見て、成長の喜びを感じるとともに、若干のさみしさを覚えました。今年は子どもたちの手が離れた分、自分のために時間を使い、これまで続けてきたストレッチなどの健康づくりのほか、新しいことにも挑戦したいと思っています。

健寿さん=昨年は就職したり、自分で車を買ったり、少し大人になったのかなと実感した年でした。今はまだ覚えなければならない仕事がたくさんあり、ほかのことを考える余裕がないですが、忙しい中でも楽しく仕事をすることができています。今年は仕事のほかにプライベートも充実させていきたいと思っています。

清悦さん=昨年は娘が箱根の温泉に招待してくれ、その際に久しぶりに静岡の弟夫婦、妹夫婦のところへ夫婦そろって遊びに行くことができ、とても良い思い出になりました。

今年は84歳になるので、のんびりと体に気を付けながら、好きな山遊びや植木の手入れに精を出し、その成長を楽しみに2人で仲良く過ごしていければと思っています。

ミツイさん=昨年はけがをしたこともあり、個人的にはあまり良い年ではなかった気がします。

今年は体に気を付けながら、健康のためにゲートボールで頭と体を使い、畑仕事なども無理のない範囲でやっていきたいと考えています。お互いに助け合い、元気に過ごしたいと思います。



佐藤 としよさん たけとし 健寿さん

●昭和44年・平成5年生まれ 滝坂 親子

昨年は老人憩の家や西会津小学校などで定期的に語り部を行ったほか、奥川地区の敬老会では余興に参加するなど、元気に過ごすことができたので悪い年ではなかったと思います。

今年も語り部などのボランティアを継続しながら、地域の皆さんと仲良くサロン活動を楽しみ、また、子どもたちに心配や負担をかけないように、健康第一で過ごしていきたいと考えています。

今年で84歳となりますが、ミネラル野菜作りも続けていきたいと思っています。今年は、昨年試験的に栽培したエゴマをもう少し多めに作り、道の駅に新しくできた「ミネラル野菜の家」に、年相応に出荷していきたいと考えています。何事も前向きに、無理はしないで健康に暮らしていければと思います。



佐藤 トキイさん

●昭和8年生まれ 極入

100歳の長寿祝い 賀寿贈呈式

上野尻の齋藤アキ子さんが11月23日に満100歳を迎え、賀寿贈呈式が行われました。式では、県会津保健福祉事務所の中村宗宏副所長、伊藤町長、町老人クラブ連合会の渡部雅二郎会長が賀寿や記念品をアキ子さんに贈り、式の最後には、親族を代表して子の齋藤悟さんが「さらに長生きできるように家族で支えていきたい」と謝辞を述べました。アキ子さんは現役で畑仕事をされており、長生きの秘訣は「畑仕事をするのと好きな野菜を食べること」と話していました。



西高魅力発信隊に丸紅賞

西高魅力発信隊の皆さんが取り組む「西会津町と農・商・工との連携による地域活性化プロジェクト・新スイーツブランド『フフフスイーツ』」が「新しい東北」復興ビジネスコンテストで応募総数239件の中から企業賞の「丸紅賞」に輝き、11月22日、西会津高校の中野隆幸校長、阿久津^{のどか}さん、渡部信洋先生(写真左から)が受賞報告に町役場を訪れました。報告を受けた伊藤町長は「西会津高校の魅力さをさらに広げていってください」と受賞を祝福しました。



アイデアで町の未来を拓く教育

12月9日、西会津中学校で第2学年を対象にアントレプレナーシップ教育が行われました。今回は、生徒の皆さんが一般社団法人 i.c l u b 代表理事の小川悠さんや東京大学の学生、町地域おこし協力隊の荒海正人さんらをアドバイザーに、商品開発をテーマとした「町の未来をつくるアイデア」を生み出すことに挑戦しました。アントレプレナーシップ教育は、資源の制約を超えてチャンスを追求める方法を学び、新しい未来を切り拓いていく力を身に付けることを目的に実施しています。



西会津小でわくわくフェスティバル

11月19日、西会津小学校で「もりあげよう たのしもう笑顔はじける フェスティバル」をテーマに「西小わくわくフェスティバル」が開かれ、児童の皆さんが学年ごとに演劇や合奏、ダンス、縄跳びなどで日頃の学習の成果を発表しました。このほか、合唱部や屋敷人形クラブによる発表も行われ、発表が終わるたびに訪れた保護者の皆さんや他学年の児童が発表した皆さんに温かい拍手を送りました。[写真＝2年生の「きょうはなんてうんがいいんだろう」から]





雪対策基本計画の素案を町長に報告

11月22日、町雪対策基本計画策定委員会の渡邊昇二副委員長が町役場を訪れ、昨年2月から策定作業を進めてきた「町雪対策基本計画」の素案を伊藤町長に報告しました。渡邊副委員長は「5地区の意見をまとめました。実践するにあたり見直す箇所もあると思いますが、雪国の生活向上に役立ててください」と伊藤町長に素案を手渡し、伊藤町長は「長期間にわたり策定作業に尽力いただき感謝します。この素案をもとに一つ一つ実行につなげていきます」と謝意を述べました。



「石川瑛作碑」を東京から町に移設

アダム・スミスの「国富論」を初めて和訳したことで知られる町出身の偉人・石川瑛作をしのんで東京・谷中霊園に建立された「石川瑛作碑」がふるさと自慢館脇に移設され、11月23日、石碑の除幕式が開かれました。式では、「石川瑛作碑」保存有志の会の石川純一会長があいさつした後、除幕が行われました。[写真=除幕の様子。左から新田興助在京西会津会会長、武藤道廣町議会議長、伊藤町長、石川愛子さん、石川純一さん、平田紀三男町商工会長、田崎公司大阪商業大学准教授]



日頃の思い堂々と 少年の主張大会

12月3日、町公民館で町少年の主張大会が開かれ、小学6年生から高校2年生までの11人の児童・生徒の皆さんが、日頃自分が感じていることや思っていること、将来の夢などを会場に訪れた大勢の皆さんの前で堂々と発表しました。発表の後には、会津若松市役所に勤める三留怜央さん(上野尻)が発表者の皆さんに励ましの言葉を送り、西会津中学校の五十嵐正彦校長が発表者ごとに講評を述べました。[写真=緊張のトップバッターを務めた西会津小学校6年・渡部颯くん]



会津(越後)街道サミットを開催

11月27日、昨年引き続き第2回会津(越後)街道サミットが今年は阿賀町の道の駅「阿賀の里」で開かれました。サミットでは、にしあいづ観光交流協会の堀口一彦さんが昨年実施した会津街道探索ウォークの実績報告を行ったほか、阿賀町教育委員会の遠藤佐さん、会津街道ファンクラブ代表の神田久さん、日本考古学協会会員の佐藤光義さんらが講演を行い、その後、日本登山インストラクターズ協会の岩崎元郎さんによる特別講演が行われました。[写真=実績報告を行う堀口さん]



町政の発展向上などに尽力

長年の功績たたえ表彰

本年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会は11月25日、町公民館で開かれました。

式では、伊藤町長が「長年にわたるご功績とご労苦に心より感謝します。町では、引き続き町民の皆さんと同じ目線に立ち、真に住んで良かったと思える明るく元気なまちづくりに取り組んでいきます」と式辞を述べた後、武藤道廣町議会議長があいさつし、続いて表彰が行われました。

表彰では、出席した受賞者の皆さんに伊藤町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

式の最後には、47年9カ月の長きにわたり町消防団で消防人として尽力し、特別功労表彰を受賞した前町消防団長の江川新壽さんが「本日はいただいた榮譽を糧に、微力ながら今後も町の発展に尽くしていきます」と受賞者を代表して謝辞を述べました。

本年度は特別功労表彰が2人に、功労表彰が5人に贈られ、また、自治区長永年勤続者5人と納税貯蓄組合長永年勤続者4人に感謝状が贈られました。

式の後には、第2部として西会津高校の西高魅力発信隊の皆さんと一般社団法人i・club代表理事の小川悠さんが「西会津町の車魅を活用したお土産スイーツの商品開発」について活動発表し、会場の皆さんは興味深そうに聞き入っていました。

西高魅力発信隊は、生徒の社会性とコミュニケーション能力の向上を目的に平成27年に同校で設立され、地域の事業者などとともに地域コミュニケーションおよび地域経済の活性化を目指し活動しています。

西会津高校では、この活動を通じた地域愛と郷土に対する誇りの醸成、そして将来の担い手育成に向け、本事業を実施しています。



受賞者の皆さんと謝辞を述べる江川新壽さん（右下）



活動発表する小川悠さんと西高魅力発信隊の皆さん



INTERVIEW

特別功労表彰

前西会津町消防団長

えがわ しんじゅ
江川 新壽 さん[上野尻]



このたびは特別功労表彰を受賞し、驚くと同時に、支えてくれた諸先輩方や団員の仲間、そして家族への感謝の気持ちがあふれました。皆さんのおかげでこの栄えある賞をいただいたのだと、この場を借りて御礼申し上げます。

47年9カ月の消防人としての生活には、さまざまなお出があります。真冬の、それも真夜中の出勤で、法被やホースがカチカチに凍ってしまっただけでもありません。消防団長となつてからは、常に消防のことが頭の片隅にあり、いつ鳴るかかわからない携帯電話に眠れない夜もありました。

退団し、肩の荷が下りたよいうな心持ちですが、今後も培った経験を生かし、少しでも町の力になればと思います。

INTERVIEW

特別功労表彰

元西会津町消防団第3分団長

かとう まさる
加藤 勝 さん[端村]



入団当初は、消防団にこれほど長く関わることになるとは思っていませんでした。脳梗塞による入院で一旦は退団しましたが、「経験を生かして地域を守ってほしい」という声と、消防団の活動を続けるうちに芽生えた「地域を守らなければ」という思いから再入団を決意しました。合わせて41年もの長い間、消防団を続けることができたのは、支えてくれた皆さんのおかげだと心から感謝しています。

端村自治区は、もう250年以上無火災が続いていると聞いています。この無火災が今後も続いていくよう、これから一住民として地域を見守り、また、有事の際の安心安全を隣近所で支え合っていければと思っています。

平成28年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

◎町政の発展向上に貢献された方への表彰

特別功労表彰

前西会津町消防団長 江川 新壽
元西会津町消防団第3分団長 加藤 勝

功労表彰

前西会津町選挙管理委員会委員長 薄 上 幸 一
元西会津町消防団第3分団長 長谷川 辰 男
前西会津町消防団第4分団長 薄 祥 男
前西会津町消防団第5分団長 佐久間 嘉 晴

◎教育、文化、美術、スポーツ等の興隆に貢献された方への表彰

功労表彰

奥川へとへとクラブ会長 故川 上 甫

感謝状贈呈

自治区長永年勤続者 5年勤続

本町2自治区長	渡 部 邦 男
原町5自治区長	渡 邊 昇 二
芝草自治区長	大 槻 忠 好
青坂自治区長	三 留 儀 行
端村自治区長	加 藤 浩 一

納税貯蓄組合長永年勤続者 20年勤続

萱本下村納税貯蓄組合長 秦 好 央

納税貯蓄組合長永年勤続者 15年勤続

下野尻第1納税貯蓄組合長 佐 藤 忠 正

納税貯蓄組合長永年勤続者 10年勤続

山浦若葉納税貯蓄組合長	三 瓶 常 夫
梨平第2納税貯蓄組合長	長谷川 富 吉



支援が必要な人と行政などをつなぐ 民生・児童委員が新体制になりました

12月1日、民生・児童委員委嘱状等伝達式が町公民館で行われ、任期満了により新たに選出された委員43名に伊藤町長が厚生労働大臣からの委嘱状を手渡し、また退任された皆さんには感謝状が贈られました。

ご存じですか

民生・児童委員

民生委員は、社会福祉増進のため、町民の皆さんの立場で生活や福祉全般に関する相談に応じ、必要な支援を行う地域福祉活動の担い手です。

また、民生委員は児童委員を兼ね、主任児童委員と協力して児童福祉に関わる活動を行うほか、町社会福祉協議会が委嘱する心配ごと相談員、日本赤十字社が委嘱する日本赤十字社協賛員も兼ねています。地域社会でのつながりが薄れる中、高齢者や障がい者、悩みを抱える人などが孤立してしまわないよう、民生・児童委員が身近な相談相手となり、支援が必要な人と関係機関をつなぐパイプ役として活動しています。

民生・児童委員の

活動内容

- ① 担当地区の高齢者や障がい者のいる世帯、児童・妊産婦のいる世帯・ひとり親世帯などへの見守り・相談支援活動
- ② 地域の身近な相談相手として福祉制度などの情報提供を行うほか、支援が必要な人と関係機関をつなぐパイプ役
- ③ 3人の主任児童委員は、児童に関する相談支援を行い、担当地区の民生・児童委員や関係機関と連携・協力しながら活動しています。

支援が必要な場合、また、困りごとがあるときには、秘密は堅く守られますので、お気軽に該当地区の民生・児童委員に相談ください。

【問い合わせ先】
健康福祉課 ☎ 45-2214

新しい民生・児童委員(野沢・尾野本地区) 任期=平成28年12月1日~平成31年11月30日(3年)

担当地区	氏名
西原・森野	長谷川 スミエ
萱本・松尾	鈴木 由美子
上小島・尾登	佐藤 トミ子
下小島・さゆりが丘	伊勢亀 静 雄
西林・西林東	小 椋 幸 雄
縄沢・青坂・軽沢	青 津 稔
牛尾・山口・出ヶ原	佐藤 政 雄
程窪・泥浮山・長桜	新 田 啓一郎
黒沢・小杉山	渡 部 徳 子
尾野本地区[主任児童委員]	荒 海 孝 子

担当地区	氏名
1町内・2町内北側	齋 藤 彰 子
2町内南側・3町内	平 野 節 子
4・5町内	伊 藤 美津子
6・7町内	岩 原 稔
8町内・9町内駅前通り西側	酒 井 徳 子
9町内駅前通り東側・10町内・下小屋	小 柴 正 意
芝草	大 槻 寅 一
堀越・芹沼・塩喰	小野木 さよ子
牧・安座	長谷川 貞 男
西平・中野・大久保・四岐	清 野 慶 久
野沢地区[主任児童委員]	長 澤 文 子

INTERVIEW (退任)

民生・児童委員

平成10年～平成28年

いわくら ようこ
岩倉 洋子 さん[上野尻]



18年間、地域や関係者の皆さん、そして家族の支えのおかげで民生・児童委員を務めることができました。心から感謝しています。

最初に民生・児童委員を打診されたときは「偉い人がやるもの」というイメージがあり、断ろうかと思っていました。しかし、夫が「やってみたらいい。そしてやるなら長くやった方がいい」と助言してくれたのをきっかけに、この道に進むことを決めました。

民生・児童委員としてさまざまな知識と経験を得ることができ、また、そこでできた人とのつながりは私の財産です。

これからは、民生・児童委員としてではなく、地域の一人として見守り活動などに加わっていききたいと思います。

INTERVIEW (再任)

民生・児童委員

平成25年～

いとう ゆういち
伊藤 優一 さん[屋敷]



前任の地区担当から声を掛けられ、西会津に戻ってきた平成25年から民生・児童委員を務めています。今までは違う人とのつながりができ、物事の見方が変わり、とても不思議な気持ちです。

私の民生・児童委員としての主な仕事は、サロンでの住民の見守りです。屋敷・熊沢・榎木平のサロンでは、誰かが前に立って物事を決めるのではなくお互いに支え合い、一緒になって物事を進めています。私は、民生・児童委員の堅いイメージを、これと同じようにもつと身近で柔らかいものに変えたいと思っています。

みんな同じ立場で「メダカの学校」のように、何事も難しく考えず、「楽しく」支え合っていければと考えています。

新しい民生・児童委員 (群岡・新郷・奥川地区) 任期=平成28年12月1日～平成31年11月30日(3年)

担当地区	氏名
戸中・橋屋・井谷・八重窪	上野 賀代子
向原・塩・下松	伊藤 哲雄
新町・道目	井上 美枝子
山浦・出戸	鈴木 儀平
中ノ沢・松峯	矢部 正夫
中町・小山・真ヶ沢	猪俣 八重子
宮野・梨平・小屋	長谷川 成博
小綱木・大舟沢	宮澤 吉夫
極入	星 敦志
弥平四郎・弥生	小椋 マサコ
群岡・新郷・奥川地区[主任児童委員]	佐藤 恵子

担当地区	氏名
上野尻1・2・3・4	藤田 静子
上野尻5・6	平野 マチ子
下野尻南側・端村	藤原 清一
下野尻北側	平野 裕子
徳沢・杉山	伊藤 誠
宝川・白坂	佐藤 新一
屋敷・榎木平・熊沢	伊藤 優一
柴崎・橋立・滝坂	佐藤 勝栄
平明・呼賀・原・新村	薄 政伴
樟山・滑沢	細野 シズエ
小清水・漆窪・高目・荒木	會澤 真



議案19件を原案のとおり可決

12月町議会定例会報告

12月2日から8日を会期に開かれた12月定例会では、「町こ
ゆりこども園条例の制定」「町農業委員等の定数に関する条例
の制定」「職員の給与に関する条例の一部改正」など議案19
件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとお
りです。

町政の主要事項 報告から

町こゆりこども園——

町こゆりこども園の開園に
あたり、町では入所児童の保
護者や入所予定の子どもを持
つ保護者の皆さんと、意見交
換会やアンケート調査などを
通して話し合いを進めてきま
した。その結果、3つの保育
所を統合し、町全体の保育環
境の改善を図るという町の基
本的な方針にご理解をいただ
きました。

今後は、環境が変わること
による児童の不安への配慮や、
保護者の皆さんが心配する課
題についてしっかりと対応し、
平成29年4月の開園に向け万

全を期していきます。

道の駅にしいづの

情報提供施設整備——

国土交通省郡山国道事務所
では、道の駅にしいづの情
報提供施設が交流物産館よ
りつせと離れ利用者動線が悪
いことから、利便性向上を目
的に、町と協議の上、交流物
産館よりつせとミネラル野菜
の家の間に新たな情報提供施
設およびトイレを整備するこ
ととしました。

現在、工事が進められてお
り、平成29年3月中旬には完
成が見込まれています。

町では、今後も国との連携
を強化し、利用しやすい道の
駅を目指していきます。



CLT等森林資源活用
しごとづくり推進事業——

東北芸術工科大学の三浦秀
一教授を委員長に、これまで
2回の森林資源活用型産業化
計画策定委員会を開催し、先
進地調査や町内の現地調査を
実施しました。町では、この
調査結果をもとに、森林資源
を有効に活用し、かつ雇用が
生まれる仕組みづくりの検討
を進め、菌床シイタケの大規
模産地化や木質バイオマス燃
料の地産地消に向けた計画策
定作業を進めていきます。

町道野沢柴崎線
橋屋橋工事——

11月1日、橋屋橋の上部工
事を請け負う川田工業株式会

社の四国工場において橋桁の
製作現場を視察しました。作
業は順調に進んでおり、この
後、最終点検を経て平成29年
2月には船による輸送を開始
し、今年度中の現地での工事
着工に向け作業を進めている
とのことでした。1日も早い
完成となるよう、町としても
鋭意努めていきます。

西会津小学校

プール検討委員会——

西会津小学校プール検討委
員会では、4回の会議を通し
てさゆり公園プールを利用す
る上での課題などを検討して
きました。その結果、現状の
課題を解決するには「小学校
にプールを設置することが必
要である」との結論に至り、
その旨を意見書という形で町
に提出しました。

町では、この意見を重く受
け止め、小学校に独自のプー
ルを設置することとし、11月
24日に開催した総合教育委
員会に示しました。

来年度、国の補助事業に採
択され次第、速やかに本事業
を進めていきます。

可決された議案

◆町こゆりこども園条例の制
定Ⅱ町認定こども園「こゆ
りこども園」設置に伴う条
例の制定

◆町農業委員会委員等の定数
に関する条例の制定Ⅱ農業
委員会等に関する法律の改
正に伴う制度変更による条
例制定

◆職員の給与に関する条例の一
部改正Ⅱ人事院等の勧告に
準じた職員給与の改正

◆町税条例等の一部改正Ⅱ町国
民健康保険税条例の一部を
改正する条例の一部改正Ⅱ
税制改正に伴う改正

◆平成28年度一般会計補正予
算(第6次)、平成28年度特
別会計等補正予算

◆町道の路線変更Ⅱ町道原町
北1号線の終点の変更

◆公の施設の管理に係る指定
管理者の指定Ⅱ町林業研修
センター、町老人憩の家、

町こゆりこども園の管理運
営を担う指定管理者の指定

◆固定資産評価審査委員会委員の
選任への同意Ⅱ伊藤重人さん
(塩、齋藤和則さん(上野尻)、
高濱悦子さん(8町内)を選任

長きにわたり町勢伸展や町の安全・安心のために尽力

秋の叙勲 清野さん、五十嵐さんに



秋の叙勲が発令され、昭和50年7月の町議会議員初当選から9期36年間にわたり町議会議員として町勢伸展のため尽力した清野邦夫さん(大久保)が旭日双光章を、昭和36年4月の町消防団入団から約35年間にわたり町消防団員として町民の生命と安全・安心の確保に尽くした五十嵐幸一さん(5町内)が瑞宝単光章を受章しました。

清野さんは11月7日に知事公館で行われた平成28年秋の叙勲・褒章受章者への伝達式に出席して勲記と勲章の伝達を受け、五十嵐さんは12月12日に町役場で行われた叙勲伝達式で戸田光昭県会津地方振興局長から勲記と勲章の伝達を受けました(写真)。

総務大臣表彰と県統計協会名誉会長表彰

鈴木さんら6人が統計功労者表彰を受賞



国勢調査をはじめとした各種統計調査の調査員や指導員として、多年にわたり調査の円滑な実施および啓発活動に尽力した皆さんが統計功労者表彰を受賞しました。受賞者は次のとおりです。[写真=伊藤町長から表彰の伝達を受ける星さん(12月9日)]

◆総務大臣表彰

鈴木 敏夫さん(萱本)

◆県統計協会名誉会長表彰

沼澤身知子さん(2町内) 渡邊 友子さん(5町内)

佐藤 百子さん(10町内) 星 美鶴雄さん(四岐)

齋藤 勝利さん(尾登)

自力での除雪が困難な高齢者世帯などを支援

本年度も「雪処理支援隊」を設置



町では、自力での除雪が困難で、また、家族や集落からの支援も難しい高齢者世帯などを支援するため、本年度も雪処理支援隊を設置しました。

12月12日に町役場で行われた雪処理支援隊辞令交付式では、伊藤町長が隊員一人一人に辞令書を手渡し、「除排雪ができずに困っている高齢者などの皆さんを支援するため、協力をお願いします」と訓示を述べました。

雪処理支援隊は、今年の3月末まで対象者宅を見守りながら除排雪の支援を行います。[写真=左から清水一穂さん(10町内)、平野真さん(下野尻)、齋藤英行さん(堀越)、矢部丈夫さん(中ノ沢)、渡部秀満さん(萱本)]



日本一きれいな雪が降る 雪国にしあいづの魅力を全国に発信！ 今年の雪国まつりは2月11日・12日開催

今年も雪国まつりを2日間開催します。恒例の雪上花火や桐ゲタ飛ばし全国大会、雪上運動会のほか、ジョセササイズ体験イベントや福島ホープス野球教室など、西会津ならではのイベントが盛りだくさんです。温かいご当地グルメも多数出店予定です。ぜひご来場ください。

◆主な開催イベント

- 11日** ホワイトステージ／歳の神／キャンドルナイト
／雪上花火
- 12日** 丞神しょうじんデナーショー／雪上運動会／ジョセササイズ
イベント／桐ゲタ飛ばし全国大会／スノーモー
ビルランド西会津／福島ホープス野球教室／ア
ルビレックス新潟サッカー教室／福島ホープス
岩村監督講演会／熱気球体験コーナー



◆参加申込・問い合わせ先

町ふるさと振興推進委員会事務局(商工観光課)
☎45-2213

戸籍の窓口 [11月受付分]

まちの人口 (12月1日現在)

		(前月比)
人口	6,794人	(+6人)
男	3,279人	(-5人)
女	3,515人	(+11人)
世帯	2,732世帯	(+11世帯)

お誕生おめでとう

平野 翔 <small>しょう</small> くん	浩光・絵梨	3町内
鈴木 乙葉 <small>おと</small> ちゃん	裕紀・優子	9町内2
伊藤 蓮 <small>れん</small> 翔くん	学・萌美	西林東
橋本 愛梨 <small>あい</small> ちゃん	浩樹・真弥	上野尻
佐藤 柚 <small>ゆず</small> 希ちゃん	祐規・由美	徳沢

ご結婚おめでとう

渡部 清仁	黒沢
三留 理恵	4町内

ヴァンデルウェイデン ウィックレインボード VAN DER WEIJDEN, Wik Reinboud	オランダ
小川 美農里	安座
湯田 章広	会津美里町
長谷川 琴美	森野



お悔やみ申し上げます

栗山 ハツ (105)	宏克	祖母	4町内
布施 光江 (84)	慶久	父	5町内
長谷川 謙吉 (88)	昭和	父	安座
渡部 政江 (78)	政信	父	安座
新井田 ワキ (93)	正美	母	牛尾
加藤 シノブ (92)	繁	母	端村
伊藤 正彦 (88)	正一	父	徳沢
貝沼 清 (77)	古川喜春	伯父	小清水
高橋 堤子 (70)	光政	母	樟山
猪俣 恒夫 (69)	敏夫	父	道目
井上 伊左雄 (83)	啓一	父	下松

有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]



有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

健康づくりは 朝が いちばん

冬に流行する感染症に注意！

冬は、低温・低湿度を好むウイルスなどの感染力が強まる季節です。また、空気が乾燥するとウイルスに含まれる水分が蒸発し、空气中に拡散しやすくなります。一方、人の体は体温が低下すると抵抗力が弱まり、ウイルスが体に侵入しやすくなります。このため、冬は特に感染症への注意が必要です。

ノロウイルスに注意

ノロウイルスによる食中毒はカキなどの貝類が原因となるのが最も多いですが、ほかの食品からの感染も油断できません。身の回りを清潔に保つことと、食品を十分に加熱することが予防の基本です。

食品対策

生ものを食べるのは極力避け、85〜90℃で90秒以上加熱調理しましょう。

衛生管理

ウイルスを洗い流すため、調理の前後、トイレやおむつ交換などの後は必ずよく手を洗しましょう。また、



調理器具はときどき塩素系漂白剤に浸して殺菌しましょう。

汚染処理

嘔吐物、ふん便を処理するときは、マスク・手袋を着用し、周りに広がらないよう気を付けましょう。

インフルエンザの予防と対策

インフルエンザは毎年流行を繰り返す。乳幼児から高齢者まで誰にでも感染する危険性のある感染症です。予防対策にはしっかりとした健康管理が重要です。

規則正しい生活

感染を防ぐためには、免疫力を高める必要があります。十分な栄養とバランスのとれた食事を心



掛けましょう。

手洗い

流水・せっけんによる手洗い・うがいを徹底し、ウイルスを体の中に入れないようにしましょう。

うがい液を使用することで殺菌効果が増します。

加湿と換気

インフルエンザは乾燥を好みます。室内の温度は20〜25℃、湿度は50〜60%に調節しましょう。また、暖房を使用するときは小まめに空気を入れ替えをしましょう。

みんなで守ろう

咳エチケット

感染症の多くは、咳やくしゃみなどのしぶきによって拡散

したウイルス・細菌を吸い込むことで感染します。「咳エチケット」を理解し、みんなが感染症を予防しましょう。

咳やくしゃみをするときは

ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。飛び散りができるだけ広げない配慮が感染の拡大を抑えます。

使用後のティッシュには

ウイルスなどの病原体がたくさん付着しています。ポケットやバッグに保管せず、できるだけすぐに捨てましょう。

自分に合うマスクを

マスクは自分に合ったものを選びましょう。

マスクの大きさ

口と鼻だけでなく、あごまで覆うことができるもの。隙間ができないよう自分に合うサイズを選びましょう。

マスクの素材

目が細かく、微細なウイルスや物体を通しにくい「不織布マスク」が推奨されています。

使用後は捨てましょう

使い捨てタイプのマスクは、一度外したら捨てましょう。マスクにはウイルスが付着して

いる可能性がありますので、外すときはマスクのひもの部分を持ち、ビニール袋などに入れて捨てましょう。

感染の拡大防止にご協力を

抗インフルエンザウイルス薬を服用して熱が下がっても、感染力が失われない期間があります。インフルエンザ患者からのウイルス排出期間は自然経過で7日間程度といわれ、学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」を出席停止期間と定めています。

熱が下がってもしばらくは外出を控え、感染の拡大防止にご協力をお願いします。



問い合わせ先

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532

いつでも・どこでも・生涯学習

地区や団体で開催できる「出前講座」

町公民館では、皆さんの集落や団体などに出向いて講座を行う「出前講座」を実施しています。出前講座は、自治区や老人クラブ、趣味のグループなどで開催でき、気軽に生涯学習について学ぶことができます。仲間と一緒に体や頭を動かし、親睦を深めましょう。今月号では、平成28年度に実施した出前講座の一部を紹介します。



◀ 地元の史跡を学習

地元の金蔵寺に祀られている「大聖歓喜天」の彫刻について学びました(極入自治区)。



◀ カロリーニング教室

みんなで楽しくカロリーニングを行い、親睦を深めました(原町しあわせクラブ)。



◀ 教養講座「認知症について」

認知症への理解を深め、予防するため学習しました(徳沢老人クラブ)。



◀ 環境センター山都工場見学

ごみの種類や出し方を学び、施設内を見学しました(さゆりが丘なでしこ会)。



◀ 滝坂地すべり見学

排水トンネルや発破掘削について説明を受けました(上野尻老壮クラブ)。

学習内容の相談を町公民館で受け付けています。出前講座を開催したい場合は、お気軽に問い合わせください。

◎ 問い合わせ先

町公民館 ☎ 45-3244
 新郷分館 ☎ 47-2300
 奥川分館 ☎ 49-2001

西小わくわくクラブ 地元食材を使って楽しくクッキング♪

11月27日、西小わくわくクラブで料理教室を行い、参加した児童とその保護者の皆さんが町の特産品「車麩」を使った「ひみつのふ・ふ(車麩の黒糖煮)」やクリームドリア、ミネラル野菜たっぷりのスープを作りました。自分たちの手で心を込めて作った料理はどれもおいしく、児童の皆さんは「家でも作ってみたい」と笑顔で話していました。



町民

バトンタッチ



川上 英二さん [下松]

岩原 千代志さん (12月号) からメッセージ
仕事頑張ってください。

趣味は？

野球、ソフトボール、バレーボール
などのスポーツ

熱中していることは？

仕事(昨年7月に転職し、覚えるこ
とが多いので)

最近感動したことは？

長女が一昨年、二女が昨年大学に合
格したこと

あなたのモットーは？

無理はしない

自分を一言で表現するとしたら？

バカ真面目

これからやってみたいことは？

いろいろな運転免許を取得して
みたい

次の方を紹介してください

Y・Sさん (塩)



聞いて！
わたしの夢

生徒会 副会長

五十嵐 杏優さん

宝物は？『長女が高校生のときの
部活写真。弓道部に入部し、大会
で射道優秀賞(矢を射るときの姿
勢が最も美しい)を受賞した自慢
の娘です』



ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分
が思い描く夢や目標を話してもらっています。今
月は3年・五十嵐杏優さんです。

わたしの夢——

「私になりたい職業は、調理師と管理栄養士で
す。なりたいと考えたきっかけは、小さいころ、
自分で作ったカレーがとてもおいしくて、料理が
すごく楽しいと思ったからです。調理師免許と管
理栄養士免許を取得し、自分の店をオープンさせ
たいです」

努力していること——

「毎日何らかの料理を作るようにしていて、みそ
汁は必ず作っています。また、週末にはクッキー
などのお菓子作りにも挑戦しています」

未来の自分に一言——

「自分の店をオープンさせることはできていま
すか。たとえできていなかったとしても、幸せにな
れるよう日々努力してください」

町民

ギャラリー

今月は、絵画クラブ

鎌間 キシ子 さんの作品です。



作品名『春の風』
作品介绍『昨年の春に描いた絵です。
春の爽やかな風が運ぶ、何とも言
えない良い匂いに誘われて描きま
した。ライラックという花です』



昨年1年間の主な出来事を写真で振り返る

NEWS フラッシュ

振り返る2016年



写真＝①8月2日、「ミネラル野菜の家」がオープン／②平成27～28年にかけての冬は降雪が少なく、例年より早く春が到来(4月5日撮影、西会津花見山の河津桜)／③3月16日に前西会津町長山口博續氏が逝去、4月14日に西会津町・山口家合同告別式を執り行う／④平成28年度から出産祝金制度を拡充、7月1日に拡充後初めての祝金支給／⑤8月18日、50年ぶりに極入自治区で金蔵寺・大聖歓喜天祭礼を開催／⑥1月26日、町で初めての子ども議会を開催／⑦4月28日、新たな「にしあいづ観光クルー」が決定／⑧5回シリーズで旧越後街道の全ての道のりを歩く「越後(会津)街道ウォーク」開催／⑨6月29日、町認定こども園園舎起工。名称は「西会津町こゆりこども園」に／⑩2月19日、西高魅力発信隊が町内事業者とともに車魅ラスクを商品開発

今月の表紙

今月の表紙は、飯豊連峰切合小屋から望むご来光です(昨年7月23日撮影)。黄金色に輝く太陽の光が、山並みの間に揺れる雲海をオレンジ色に染めました。また、写ってはいませんが、この瞬間を写真に収めようとカメラを構える皆さんもきれいにオレンジ色に染まっていました。

編集後記

明けましておめでとうございます。お正月はいかがでしたか。今年も皆さんにとって良い年となりますよう、心からお祈りいたします。

さて、例年同様1月号のこゆりちゃんトピックスでは、昨年の町の主な出来事を振り返ってみました。皆さんの周りではどのような出来事がありましたか。ちなみに、私にとっての昨年の重大ニュースは「広報にしあいづ」リニューアルです。今年も「読みやすい広報紙」を目指し、日々頑張っていきたいと思えます。

謹賀新年 長谷川祐一